

平成 27 年度  
行政評価諮問事業に係る答申書



平成 28 年 2 月  
愛南町行政評価委員会

# 目 次

## 1 審議経過

- (1) 評価対象の事務事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- (2) 評価の手順・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- (3) 会議の開催数等・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

## 2 当委員会の評価

- (1) 評価の視点・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- (2) 評価の種別・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- (3) 評価の内容・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- (4) 評価一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3

    諮問事業評価表・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4～P 12

## 3 委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・ P 13

## 1 審議経過

### (1) 評価対象の事務事業

平成 26 年度に実施した次の 5 事業である。

番号	事業分野	事業名
1	水産業の振興	地域産業研究・普及センター管理運営事業
2	子育て環境の充実	放課後児童クラブ事業（夏休み子ども教室含む）
3	環境の保全	再生可能エネルギー導入可能性調査委託業務
4	生涯学習の充実	トレッキング・ザ・空海あいなん開催事業
5	農林業の振興	有害鳥獣対策事業 ・農作物鳥獣害防止対策推進事業費補助金 ・有害鳥獣駆除事業 ・森林保全ニホンジカ捕獲推進事業 ・鳥獣被害防止総合対策事業 ・鳥獣被害防止総合対策事業 （緊急捕獲活動支援事業）

### (2) 評価の手順

まず、諮問事業の担当課が評価を行い（1次評価）、その後当委員会が担当課へのヒアリングを実施し、各委員がそれぞれの諮問事業について評価を行った。

そして、各委員の評価を取りまとめて意見の集約を行い、討議の上、当委員会の評価を決定した（2次評価）。

### (3) 会議の開催数等

回数	年月日	主な審議の内容
第1回	平成 28 年 1 月 14 日（木）	町長からの諮問について 諮問事業担当課へのヒアリング
第2回	平成 28 年 1 月 22 日（金）	委員の評価の取りまとめ
第3回	平成 28 年 2 月 16 日（火）	答申書（案）について
答 申	平成 28 年 2 月 16 日（火）	平成 26 年度諮問事業について、 町長へ答申

## 2 当委員会の評価

### (1) 評価の視点

#### ① 妥当性

- ・社会情勢の変化等により、事業実施の意義が低下していないか。
- ・特定の個人や団体などに受益が偏っていないか。
- ・住民ニーズはあるか。
- ・次年度以降実施する緊急性があるか。

#### ② 有効性

- ・事業の意図に対して、事業内容が有効かどうか。
- ・事業の意図が、施策や基本事業の成果指標の向上に結び付いているか（上位貢献）。
- ・今後事業を継続する場合、成果が向上する余地はあるか（向上余地）。

#### ③ 効率性

- ・民間への委託、NPO法人等の協力により、効率的に事業を実施できないか。
- ・対象や意図を絞り込んだり拡充することで、費用対効果を上げることができるか（対象等見直し）。
- ・成果を低下させずにコストを削減できるか（削減余地）。

### (2) 評価の種別

#### ① このまま継続

- ・事業執行の妥当性、有効性及び効率性は問題ないため、事業を前年度と同様に執行していく。

#### ② 拡大

- ・人員や予算などの投入を拡大し、より大きな成果を上げることをめざす。

#### ③ 縮小

- ・人員や予算などの投入を制限し、事業規模を縮小する。

#### ④ 執行方法の改善

- ・手段や方法を見直すことにより、成果の向上や経費の削減などをめざす。

#### ⑤ 事業統合

- ・他の事業と統合し、効率的な事業執行や成果の向上をめざす。

#### ⑥ 休止／廃止

- ・事業の目的を達成した、又は成果が上がらないなどの理由により、一時的に休止又は廃止する。

### (3) 評価の内容

当委員会の諮問事業に対する評価の詳細については、次ページ以降に記載しているとおりである。

評価に当たっては、(1) 評価の視点による各委員の妥当性、有効性及び効率性の評価を集計し(10名の委員がそれぞれの項目に対し1票ずつ投票)、各委員から提出された意見・提言とともに討議の参考とした。最終的に当委員会の評価は、(2) 評価の種別から選択し、決定した。

なお、「このまま継続」以外の評価では、併せて具体的な改善案等を提言している。

### (4) 評価一覧

番号	事業名	担当課	評価
1	地域産業研究・普及センター管理運営事業	水産課	このまま継続／ 執行方法の改善
2	放課後児童クラブ事業(夏休み子ども教室含む)	生涯学習課	このまま継続／ 拡大
3	再生可能エネルギー導入可能性調査委託業務	環境衛生課	執行方法の改善
4	トレッキング・ザ・空海あいなん開催事業	内海支所	このまま継続
5	有害鳥獣対策事業	農林課	—
5-1	①農作物鳥獣害防止対策推進事業費補助金		このまま継続／ 拡大
5-2	②有害鳥獣駆除事業		このまま継続／ 拡大
5-3	③森林保全ニホンジカ捕獲推進事業		このまま継続／ 拡大
5-4	④鳥獣被害防止総合対策事業		このまま継続／ 拡大
5-5	⑤鳥獣被害防止総合対策事業 (緊急捕獲活動支援事業)		このまま継続／ 拡大

## 地域産業研究・普及センター管理運営事業 意見一覧表

### 1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	9票	1票		
有効性	8票	2票		
効率性	4票	5票		1票
計	21票	8票	0票	1票

### 2 各委員からの意見・提言

- ・愛南町地域産業（ぎょしょく教育）、愛媛大学の研究（学生の育成）のための重要施設なので今後も現状のまま維持してほしい。
- ・南予地域で愛南町だけということもあり、とても誇りに思う。
- ・水産業が盛んな愛南町にとって前向きに進めるのは良いと思う。
- ・地場産業の向上に良い方法であり、この施設から研究成果が出るよう努めてほしい。
- ・当事業施設を拠点とした積極的な水産振興、地域振興の継続・拡大が望まれる。
- ・天然の魚が減っているので研究により増やせるのであれば良い事である。
- ・研究成果が上がっているように、ぎょ食教室もさらに展開できれば望ましい。
- ・ケーブルテレビで一般の方々が見学している様子や調理している様子が放送されていた。町民の方々にもっと知ってもらい、足を運んでもらえる機会が増えれば良いと思う。
- ・事業自体が長期的であり、その研究成果も地域産業の基礎として重要なものであることから、今後も適切な維持管理を行う必要があると考える。
- ・現在、保守点検を行っているようであるが、今後、機械等の老朽化、潮害等による故障などにより設備復旧が必要になった場合、高コストが発生するのではないかと不安がある。
- ・将来での事故等の未然防止のため、町の一般職員では設備の維持修繕は難しいと考えるが、今後は常駐職員又は指定管理者などにより専門的な維持管理を行っていくべきであるとする。
- また、その維持修繕に関しては、外注修理だけでなく町職員の専門部署を活用して、施設の状況を適切に監視できる体制を確保するほか経費の縮減を図ることも肝要である。
- ・火災等の大事故は発生していないため現状では、管理運営は有効かつ適切に行っていると思われるが、今後、施設老朽化により不具合や事故、火災といった問題が生起する恐れが十分にあるため、長期滞在者数から考えると管理人を常駐させるなど専門の常駐者による管理が将来的には必要と考える。
- ・すでに決まった業者が入っていたり、愛媛大学が管理しているので、民間への委託等は現段階では考える必要性は低いように思われるが、愛媛大学と協議する必要があるが、指定管理制度を導入する等して、コストダウンと両立する形で実現できないか検討すべきである。
- ・維持管理のためには、ある程度の電気使用量は仕方がないが、節電・節水に関しては、町職員の方々で見直し（電気はLED化する等）を検討していただきたい。

### 3 当委員会の評価

**このまま継続／ 基本的にはこのまま事業を継続しながら、全体的な節電努力に努め  
執行方法の改善… ていただきたい。**

## 放課後児童クラブ事業（夏休み子ども教室含む） 意見一覧表

### 1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	7票	2票	1票	
有効性	5票	5票		
効率性	5票	5票		
計	17票	12票	1票	0票

### 2 各委員からの意見・提言

- ・共働き、一人親世帯の増加により、少子化とはいえ、事業の必要性は高い。
- ・近年の経済状況を鑑み共働きの家庭の割合は多い事から非常に妥当性が高い。
- ・子どもの健全な成長に資し、親も安心して働けるというメリットがある。
- ・集団での生活を行うことは、子供の情操教育の面からも好ましい。保護者からのニーズも高いため有効性は非常に高いと考える。また、大人の目が届く位置にあるため児童の交通事故や犯罪に巻き込まれないことにもつながり安全面からも有効性は高い。
- ・子供とその親の視点からすると効率性は高い。但し、受け入れ側の負担や人材不足が顕著であるため、今後の運営指針について単年度ごとに改善を行う必要がある。
- ・夏休みに1日昼食を作って食べさせるボランティアに参加している。母の立場であれば嬉しい事業である。
- ・コスト上、小規模地域での開設は難しいと思われ、地域別の格差ができるのは仕方ないが、当然不満の声は出ると思われる。
- ・希望者を100%受け入れる体制が望ましい。
- ・利用意向アンケートを参考に、未開発地区の検討、指導員の確保に努めていただきたい。
- ・地域、小規模校全ての児童へも配慮すべきである。
- ・平城、城辺、一本松以外の地域でも利用できることがベストだと思われる。
- ・学童保育がある学校へ転校する家庭もある。これを理由に自宅から離れた学校に通学するのは本来地域によりそう学作りの意図から遠ざかるようで残念である。少子化の中、核家族化も進んでいると思われるので、子供の見守りもかねて気にかけていただきたい。
- ・不審者や事故なども心配である。大きい施設もいいですが民間の空き家などの庭を利用することも一つの手法と考える。
- ・将来的な少子化を見据えた方針について、減数のみでの将来予測だけでなく集約化の方針についても早い段階で指針を取りまとめておいた方が保護者への理解も得られやすいと考える。
- ・受益者負担、固定費の削減等は既に試みており、これ以上効率を追求できるか疑問である。
- ・支援員募集をしているとのことであったが、知らなかった。もう少し周知に力を入れてもらえば、もっと集まると思われる。
- ・入会申込者数に対して、ほぼ入会できているが、夏休み子ども教室は定員オーバーしている状況なので早期解決に取り組んでいただきたい。施設及び指導員の不足が原因とのことであったが、児童減少が進んでいることから、保育所等の利用も検討していただけたらと考える。
- ・夏休み子ども教室についても、拡充を検討していただきたい。

### 3 当委員会の評価

**このまま継続／… 基本的にはこのまま事業を継続しながら、未開設地域への拡大を検討していただきたい。**

## 再生可能エネルギー導入可能性調査委託業務 意見一覧表

### 1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	1票	2票	6票	1票
有効性	1票	3票	5票	1票
効率性			7票	2票
計	2票	5票	18票	4票

### 2 各委員からの意見・提言

- ・調査委託事業で単年度執行なので意見できない。
- ・調査委託費用が高額なため、費用対効果を考えると、今後の事業の成果を期待する。
- ・目的や想定される事業御範囲が限定されているのに、これほどの費用を掛けて調査する必要があったのか疑問であるため、調査結果を他の分野にも利用できれば、調査事業の意義があると思われる。
- ・干害対策事業としては、本当に高いコストが発生する太陽光発電施設が必要なのかどうか検討が必要と考える。
- ・必要な事業だけに、事業の概要から見れば、今後の事業実施・運営を考えると、担当課が適切か疑問である。
- ・農家の負担をぜひ軽減していただきたい。
- ・一般の商用電力と比較し、設備の投資及び維持管理の人員経費とパネルの損耗による発電不足や更新を考えると非効率と思われる。
- ・事業自体の総合的な計画が必要である。（費用対効果及び設置による効果、現状の問題点や要望事項を今一度説明が必要と考える。）特に少子高齢化が避けられない現状において将来的に当該設備に係る費用は町民の税金で弁済せねばならず、町民税での負担増による町民生活の圧迫が避けられないと考える。  
また、灌漑を利用する人員と費用対効果の確認も必要と考える。
- ・太陽光発電を導入した場合、今後のコスト（維持費）に見合うかどうか（電力料が）検討していただきたい。

### 3 当委員会の評価

執行方法の改善

調査委託業務結果を活かし、今後の事業展開に活かしていただきたい。



# トレッキング・ザ・空海あいなん開催事業 意見一覧表

## 1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	6票	3票	1票	
有効性	7票	3票		
効率性	5票	2票	2票	1票
計	18票	8票	3票	1票

## 2 各委員からの意見・提言

- ・四国遍路に対する関心が高まっており、意義がある。
- ・今年度で18回も継続実施されており、ぜひ町民で参加したい事業だと感じた。
- ・お遍路文化を伝承し、また小中高生のボランティアで参加することでお接待文化も伝承できるため、今後四国特有の文化として継承していただきたい。
- ・地域の歴史あるイベントとして定着しているため、継続拡大に向け努力いただきたい。
- ・トレッキングと句会を結び付けたアイデアは独自のもので興味深い。
- ・「松尾峠、柏坂＝愛南町」というようなイメージが定着すれば、知名度もあがるし、経済効果も出てくると思われる。ゲストを依頼していた時は、県外からの参加者も多かったように感じたため、今後は町外からの参加者を増やす取組みをしていただきたい。
- ・外国人ツーリストの増加を望むため、インターネット等での周知も必要と考える。
- ・愛南町は高校生のヨーロッパ研修等、英語教育に力を入れていることから、高校生の通訳ボランティアの活用等検討してみるのも一つの手法と考える。
- ・お接待ボランティアで参加したことがあるが、イベントが実施される第2土曜日及び日曜日は雨が多いため、日程の変更を検討していただきたい。
- ・ボランティア団体が日頃の成果を話し合う場としては有効である。ただし、町民の参加によるメリットが、参加するという実績以外見いだせない。
- ・イベントそのものが、教育の一環によるボランティア行為そのものが目的であれば一理あるが、団体のミーティングだけでは改善の必要がある。
- ・多額の費用に見合った効果が得られているのか？コンサートの意義が分からない。
- ・地元住民も観光客も参加できるイベントが長年続いていることは素晴らしいことだと思うので、より人を集められるよう工夫を凝らしていただきたい。

## 3 当委員会の評価

このまま継続

## 農作物鳥獣害防止対策推進事業費補助金 意見一覧表

### 1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	8票	2票		
有効性	7票	3票		
効率性	3票	6票		1票
計	18票	11票	0票	1票

### 2 各委員からの意見・提言

- 補助金と奨励金の組み合わせで効果を上げている。
- 被害額も若干ではあるが減少しており有効性は高いと考える。
- 侵入防止による被害軽減が見込めるのであれば継続して実施すべきである。
- 町単事業として有効性の高い取組だけに継続・拡大が必要である。
- 柵設置が広範囲の為、補助金上限5万円が少しでも増額していただくとありがたい。
- 今後、申請件数が増え予算額を超えた場合は、予算増額も必要と考える。
  
- イノシシ、シカ、サル等が捕獲されている数が多い事に驚いた。農家の被害が減少することを期待する。
- みかんをいのしし被害から守るための電柵設置の補助をしていただけると非常にありがたい。
- 鳥獣被害は農家にとって決して看過できない問題であり生活基盤をも揺るがしかねない問題であることから、継続的な対応が必要である。
- 被害額の減少及び措置方法を関係各所と協議して有効な方策を見出すとよいと考える。  
それによる補助金等の拡充も必要と考える。
- 町民に対し、個人申請が可能であるという補助金の認知度をあげる必要がある。
- 補助事業の内容を広報誌等で町民に広く周知を図る必要がある。
- 耕作放棄地が広がることは、環境面を考えても望ましくない。被害が重大で、周辺地域も含めた総合的な対策が必要である。
  
- 駆除はあくまで対症療法であるため、効果の高いワイヤーメッシュ柵の導入を進めるべきである。

### 3 当委員会の評価

**このまま継続／ ... 基本的にはこのまま事業を継続しながら、制度の認知度の向上及び拡大**  
 予算の増額を検討していただきたい。

## 有害鳥獣駆除事業 意見一覧表

### 1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	8票	2票		
有効性	7票	3票		
効率性	5票	4票		1票
<b>計</b>	<b>20票</b>	<b>9票</b>	<b>0票</b>	<b>1票</b>

### 2 各委員からの意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 補助金と奨励金の組み合わせで効果を上げている。</li> <li>• 侵入防止による効果が見込めるのであれば継続して実施すべきである。</li> <li>• 農作物被害を考慮すれば、継続以上を維持しなければならないと考える。</li> <li>• 予算に対し、実績が超越しているので、町財源での予算も必要と考える。</li> <li>• 予算増額を要望する。</li> <li>• 猟友会に連絡するとすぐに対応していただけるので非常に助かっている。</li> <li>• 猟友会員の高齢化から愛南わなの会発足は大きな前進であり、期待される。</li>   <li>• イノシシ、シカ、サル等が捕獲されている数が多い事に驚いた。農家の被害が減少することを期待する。</li> <li>• みかんをいのしし被害から守るための電柵設置の補助をしていただけると非常にありがたい。</li> <li>• 鳥獣被害は農家にとって決して看過できない問題であり生活基盤をも揺るがしかねない問題であることから、継続的な対応が必要である。</li> <li>• 今後は、有害期間においても活動できるよう、関係機関と連携した調整を願いたい。</li> <li>• 被害額は減少しているが、狩猟者減少が懸念されるので、さらなる被害総額の減少が見込めるような方策を作成する必要がある。</li> <li>• 農業人口と狩猟関係者の減少が将来的な問題となっているので、そのための方策（狩猟免許取得助成等）を実施すればよいと考える。</li> <li>• 補助事業の内容を広報誌等で町民に広く周知を図る必要がある。</li> <li>• 耕作放棄地が広がることは、環境面を考えても望ましくない。被害が重大で、周辺地域も含めた総合的な対策が必要である。</li>   <li>• 駆除はあくまで対症療法であるため、効果の高いワイヤーメッシュ柵の導入を進めるべきである。</li> </ul>
--

### 3 当委員会の評価

<p><b>このまま継続／ ... 基本的にはこのまま事業を継続しながら、制度の認知度の向上及び拡大</b>  <b>予算の増額を検討していただきたい。</b></p>
--

## 森林保全ニホンジカ捕獲推進事業 意見一覧表

### 1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	7票	3票		
有効性	7票	3票		
効率性	5票	4票		1票
<b>計</b>	<b>19票</b>	<b>10票</b>	<b>0票</b>	<b>1票</b>

### 2 各委員からの意見・提言

- 補助金と奨励金の組み合わせで効果を上げている。
- 一定期間のみの狩猟にもかかわらず駆除数も多く、被害額は増加もないことから有効性は高いと考える。
- 例年の駆除数から鑑みると継続的な対応が功を奏しており効率性も高いと考える。
- 農作物被害を考慮すれば、継続以上を維持しなければならないと考える。
- 専門家でないと駆除できないため引き続き行う必要がある。
- 猟友会の方に連絡するとすぐに対応していただけるので非常に助かっている。
- シカの被害防止には、多額の経費が必要なため、個体数の減少を図ることが重要であり、今後も事業継続が必要と考える。
- イノシシ、シカ、サル等が捕獲されている数が多い事に驚いた。農家の被害が減少することを期待する。
- みかんをいのしし被害から守るための電柵設置の補助をしていただけると非常にありがたい。
- 予算増額を要望したい。
- 安全管理を徹底しつつ、新規の狩猟者の人材確保が急務である。町及び猟友会等が協力して周知徹底と育成を行っていくべきである。
- 補助事業の内容を広報誌等で町民に広く周知を図る必要がある。
- 耕作放棄地が広がることは、環境面を考えても望ましくない。被害が重大で、周辺地域も含めた総合的な対策が必要である。
- 駆除はあくまで対症療法であるため、効果の高いワイヤーメッシュ柵の導入を進めるべきである。

### 3 当委員会の評価

**このまま継続／ ... 基本的にはこのまま事業を継続しながら、制度の認知度の向上及び拡大** 予算の増額を検討していただきたい。

## 鳥獣被害防止総合対策事業 意見一覧表

### 1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	7票	3票		
有効性	7票	3票		
効率性	6票	3票		1票
計	20票	9票	0票	1票

### 2 各委員からの意見・提言

- 補助金と奨励金の組み合わせで効果を上げている。
- 設置に関しては使用者の責務により行っており有効性は高い。
- モデル地区での効果が出ているようなので、継続以上の事業実施を推進いただきたい。
- ワイヤメッシュ柵を設置することで野生鳥獣類の被害減少となっているので今後も事業を継続実施していただきたい。
- みかんをいのしし被害から守るための電柵設置の補助をしていただけると非常にありがたい。
- 今後、申請件数が増え、県補助金額を超えた場合、町財源での予算補充も必要と考える。
- 予算増額を要望したい。
- ワイヤメッシュ柵の設置は、被害防止の柱であるだけに、継続拡大に向け、予算確保に努力願いたい。そのためには、関係機関と連携した地域実態に則した被害防止計画を策定していただきたい。
- イノシシ、シカ、サルなど捕獲されている数が多いことに驚いた。農家の被害が減らせることを期待する。
- 補助事業の内容を広報誌等で町民に広く周知を図る必要があると思われる。
- 侵入防止が主体のため、加害鳥獣自体の減数は見込めないことから、他の事業と吻合を図る必要がある。
- ネット非設置個所との被害格差が起きないように他の事業と調整を図る必要がある。
- 設置費用が掛からず物理的侵入阻止が可能であるため、効率性は高い。逆にその設置していない箇所の被害軽減と、狩猟による駆除とで協調して被害額の軽減を図るべきである。
- 生き物相手の対策のため、一般の知識では成果がなかなか出にくいこともあり有識者や専門家からの意見を参考に積極的な対策を行うべきと考える。
- 耕作放棄地が広がることは、環境面を考えても望ましくない。被害が重大で、周辺地域も含めた総合的な対策が必要。
- 駆除はあくまで対症療法なので、効果の高いワイヤメッシュ柵の導入を進めるべきである。

### 3 当委員会の評価

**このまま継続／ ... 基本的にはこのまま事業を継続しながら、制度の認知度の向上及び拡大** 予算の増額を検討していただきたい。

## 鳥獣被害防止総合対策事業（緊急捕獲活動支援事業） 意見一覧表

### 1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	7票	3票		
有効性	6票	4票		
効率性	6票	3票		1票
<b>計</b>	<b>19票</b>	<b>10票</b>	<b>0票</b>	<b>1票</b>

### 2 各委員からの意見・提言

- 補助金と奨励金の組み合わせで効果を上げている。
- 補助金の範囲内での運用で賄えており、事業の計画性が高い。
- 猟友会等による駆除費用について、今後の後継者育成もあるので継続していただきたい。
- みかんをいのしし被害から守るための電柵設置の補助をしていただけると非常にありがたい。
- 予算増額を要望したい。
- 鳥獣被害防止事業は、捕獲・防止の両輪で事業種類が多いため、現場に対応した積極的事業実施をお願いしたい。
- イノシシ、シカ、サルなど捕獲されている数が多いことに驚いた。農家の被害が減らせることを期待する。
- 農作物被害の軽減が図れているのであれば継続して実施すべきである。
- 「緊急…事業」ということは、不安定な補助金とも考えられる。  
「有害鳥獣駆除事業」等と一本化して、町財源での予算も組み、対応すべきである。  
ただし、猟友会、わなの会頼みであるため、人員等の不安はある。
- 補助事業の内容を広報誌等で町民に広く周知を図る必要があると思われる。
- 鳥獣被害防止に関しては、他の事業と複合して行う必要があるため、計画の継続にあたっては、今後策定される愛南町鳥獣被害防止計画との整合性を図る必要がある。
- 特に西海地区では猿の被害が大きいため、捕獲とは別の方法を検討していただきたい。
- 耕作放棄地が広がることは、環境面を考えると望ましくない。被害が重大で、周辺地域も含めた総合的な対策が必要と考える。
- 駆除はあくまで対症療法なので、効果の高いワイヤーメッシュ柵の導入を進めるべきである。

### 3 当委員会の評価

**このまま継続／… 基本的にはこのまま事業を継続しながら、制度の認知度の向上及び拡大**      予算の増額を検討していただきたい。

### 3 委員名簿

(敬称略・順不同)

番号	職務	氏名	住所
1	委員長	中山 孝二	愛南町御荘平城
2	副委員長	島本 知子	愛南町満倉
3		兵頭 堅次	愛南町須ノ川
4		宗田 清昭	愛南町御荘菊川
5		砂田 陽子	愛南町御荘平城
6		中平 道代	愛南町城辺甲
7		大下 真紀	愛南町城辺甲
8		太田 英和	愛南町満倉
9		吉澤 直人	愛南町樽見
10		國光 甘雨	宿毛市駅東町